

## IBM Watson Supply Chain Insights

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

### 1. クラウド・サービス

IBM Watson Supply Chain Insights Standard Edition はクラウド・ベースのオフファリングで、お客様の「サプライ・チェーン」をサポートするよう設計された可視性、洞察およびコラボレーションの機能を提供します。「クラウド・サービス」の主コンポーネントには、オペレーション・センター、コラボレーション・スペース、および Ask Watson の機能が含まれます。

「クラウド・サービス」はお客様の「サプライ・チェーン」からのデータを取り込み、オペレーション・センターで当該データを視覚化します。標準のデータ・モデルを使用して、発注書、注文出荷、製品在庫、サプライ注文、サプライヤー出荷およびその他などの、「データ・オブジェクト」をロードします。データの個々のタイプまたはカテゴリーを「データ・オブジェクト」とそれぞれ呼びます。データは、API を使用して、またはマッピング・プロセスを通じてユーザーを誘導するスプレッドシートを介して、ロードすることができます。お客様のデータは、お客様が有効な「クラウド・サービス」サブスクリプションを保持している間は、最小 24 か月間保持されます。IBM は、24 か月を経過したデータを削除する権利を留保します。ロードされたデータに基づいて「サプライ・チェーン」の正常性を視覚化する、すぐに使える重要業績評価指標 (KPI) があります。KPI に基づいて潜在的な問題に関する通知を提供する視覚アラートがあります。

コラボレーション・スペースは解決ルームと呼ばれ、Watson Workspace の限定使用が含まれます。解決ルームでは、ユーザーは仮想空間で問題に取り組むためにコラボレーションを行えます。ユーザーは別の同僚、ビジネス・パートナー、またはサプライヤーおよび Watson と、ビジネス上の問題を話し合い、解決できます。Watson を解決ルームのメンバーにすることができます。お客様は、アップロードされたファイルおよびイメージのストレージに利用可能なアップロードに関して、「許可ユーザー」ごとに 20 GB のアップロードに制限されます。「追加条件」の条項に記載された使用については、API も利用可能です。

ユーザーは自然言語で Watson に質問ができます。Watson は、データ・モデルで利用可能なデータやその他の解決ルームで利用可能なデータに基づいて、お客様の「サプライ・チェーン」に関する回答を提供できます。

IBM Watson Supply Chain Insights (SCI) Standard Edition Subscription および IBM SCI Enterprise Standard Edition では、2 つの基本インスタンスが利用可能です。

#### 1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM SCI – Standard

各「インスタンス」について、本「クラウド・サービス」には以下のリソースが含まれています。

- 5 人の「許可ユーザー」
- 4 つの「アイテム」(データ・オブジェクト)
- 500 の「出荷記録」

##### 1.1.2 IBM SCI Enterprise – Standard

各「インスタンス」について、本「クラウド・サービス」には以下のリソースが含まれています。

- 100 人の「許可ユーザー」
- 8 つの「アイテム」(データ・オブジェクト)
- 100,000 の「出荷記録」

## 1.2 オプション・サービス

以下のオプション・サービスは、IBM Watson Supply Chain Insights – Standard または IBM Watson Supply Chain Insights Enterprise – Standard のいずれかの基本インスタンスのそれぞれに合わせる必要があります。

### 1.2.1 許可ユーザーを追加するアドオン

お客様は、基本サブスクリプションの「インスタンス」に含まれた数量を増やすために、追加の「許可ユーザー」使用許諾を取得することができます。

- a. IBM Watson Supply Chain Insights-AddOn-Authorized User
- b. IBM Watson Supply Chain Insights Enterprise-AddOn-Authorized User

### 1.2.2 データ・オブジェクトを追加するアドオン

お客様は、基本サブスクリプションの「インスタンス」に含まれた「データ・オブジェクト」の数量を増やすために、追加の「アイテム」使用許諾を取得することができます。

- a. IBM Watson Supply Chain Insights-AddOn-Data Object-Item
- b. IBM Watson Supply Chain Insights Enterprise-AddOn-Data Object-Item

### 1.2.3 出荷記録を追加するアドオン

お客様は、基本サブスクリプションの「インスタンス」に含まれた数量を増やすために、追加の「出荷記録」使用許諾を取得することができます。

- a. IBM Watson Supply Chain Insights-AddOn-Resource Shipment Record の場合 – このアドオンのリソースでは、「1000 出荷記録」の課金単位が使用されます。
- b. IBM Watson Supply Chain Insights Enterprise – AddOn-Resource-Ten Thousand Shipment Records の場合 – このアドオンのリソースでは、「1 万出荷記録」の課金単位が使用されます。

### 1.2.4 非実稼働環境向けのアドオン

お客様の非実稼働活動の一部としての「クラウド・サービス」の使用が許可されます。非実稼働活動には、テスト、性能調整、故障診断、ベンチマーク、ステージング、品質保証活動および公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の「クラウド・サービス」オフリングに対する追加もしくは拡張の開発が含まれますが、これらに限られません。本エディションの「クラウド・サービス」は以下に限定されます。

- a. IBM Watson Supply Chain Insights – Standard Non Production の場合 – 一度に 5 人までの「許可ユーザー」による同時使用および毎月 500 の「出荷記録」に制限されます。
- b. IBM Watson Supply Chain Insights Enterprise – Standard Non Production の場合 – 一度に 100 人までの「許可ユーザー」による同時使用および毎月 100,000 の「出荷記録」に制限されます。

### 1.2.5 従量課金制サービス

お客様のリソースの使用が基本サブスクリプションの「インスタンス」に含まれる量を超えた場合、お客様は、超過使用に対して従量課金ベースで請求されます。こうした従量課金制サービスは、サブスクリプションの基本「インスタンス」のそれぞれに合わせる必要があります。

- IBM Watson Supply Chain Insights – Standard
  - IBM Watson Supply Chain Insights – Standard Edition-Base-Authorized User – Pay Per Use
  - IBM Watson Supply Chain Insights – Standard Edition-Base-Resource Item – Pay Per Use
  - IBM Watson Supply Chain Insights – Standard Edition-Base-Resource-Shipment Record – Pay Per Use
- IBM Watson Supply Chain Insights Enterprise – Standard
  - IBM Watson Supply Chain Insights Enterprise – Standard- Authorized User – Pay Per Use
  - IBM Watson Supply Chain Insights- Enterprise – Standard Edition Base Resource-Data Object – Pay Per Use
  - IBM Watson Supply Chain Insights Enterprise – Standard Edition Base – Resource-Ten Thousand Shipment Record – Pay Per Use

## 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、下記リンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様書に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

### IBM Watson Supply Chain Insights

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=C0D1C7801BDF11E7A99D5014AD6C3D46>

### IBM Watson Workspace

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=FD58334063C211E6865BC3F213DB63F7>

## 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック ([https://www.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_overview.html](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

\*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

### 3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

## 4. 料金

### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて)「クラウド・サービス」へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。

- 「出荷記録」は商品の出荷を表す記録で、「クラウド・サービス」によって処理される商品セット内に含まれる品目記録、注文記録、パッケージ数は関係ありません。

## 5. 追加条件

2019年1月1日より前に締結されるクラウド・サービス契約(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。

### 5.1 ゲスト・ユーザー

「ゲスト・ユーザー」は、お客様が「クラウド・サービス」へのアクセスを許可した者になります。ゲスト・ユーザーは、お客様の従業員もしくは受託業者の場合、またはお客様の企業もしくは組織のメンバーではないユーザーの場合があります。「ゲスト・ユーザー」は、「クラウド・サービス」へアクセスする前に、IBMが提供するオンラインでの同意を要求される場合があります。お客様は、次のような「ゲスト・ユーザー」による「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負いますが、これらに限られません。a)「ゲスト・ユーザー」による「クラウド・サービス」に関連するあらゆる請求、b)「ゲスト・ユーザー」が支払義務を負う料金、またはc)それらの「ゲスト・ユーザー」による「クラウド・サービス」の誤用。「ゲスト・ユーザー」は「解決ルーム」のみを使用でき、その他のユーザーはすべて、「クラウド・サービス」を使用するためのサブスクリプションを有していなければなりません。IBMは、将来の任意の時点でゲスト・ユーザーの数を制限する権利を留保します。「ゲスト・ユーザー」は、アップロードされたファイルおよびイメージのストレージに利用可能なアップロードに関して、ゲスト・ユーザーごとに1GBのアップロードに制限されます。

### 5.2 IBM Watson Workspace API に関する条件

これらの条件は、「クラウド・サービス」内でアプリケーションを作成することを目的とした、お客様による Watson Workspace API の使用に適用されます。お客様は、「クラウド・サービス」内で提供されるカタログ(以下「カタログ」といいます。)にアプリケーションを公開したり、本「サービス記述書」を条件に、「カタログ」以外の方法を通じて「エンド・ユーザー」に対してアプリケーションへのアクセスを提供したりできます。

#### 定義

- a. **アプリケーション項目** – お客様が「カタログ」への公開または「カタログ」以外の URL 経由での共有を望むアプリケーションに関連してお客様が指定する、アプリケーションの説明およびご利用条件をいいます。
- b. **エンド・ユーザー** – 「クラウド・サービス」へアクセスするユーザーをいいます。

#### 5.2.1 お客様の連絡先情報

IBMは、お客様が送信する連絡先情報を検証することができ、お客様が公開するアプリケーションについてお客様とコミュニケーションを取るために、および「クラウド・サービス」に関する情報をお客様に提供するために、お客様が提供する連絡先情報を使用できます。IBMは、お客様が本別紙の条件に違反しているとIBMが判断する場合、お客様の「クラウド・サービス」へのアクセスおよび「カタログ」へ公開するための機能を停止する権利を留保します。

#### 5.2.2 アプリケーションに関する制限事項

お客様は、「クラウド・サービス」内で Watson Work API を使用して作成するアプリケーションに関し、以下の条件を遵守することに同意します。

- お客様または第三者にとって機密の情報を含むアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- 公開することについて事前に同意を得ることなく第三者に専有の情報が含まれるアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- アプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりせず、不法な、中傷的な、卑猥な、不正な、またはその他好ましくないアクティビティーを含むインターネット・サイトに、お客様のアプリケーションからのリンクを含んだりしない。

- 上記の条件のうち、「セキュリティの内容」(第2条)に定義される、センシティブ個人情報を含むアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- 13歳未満の児童を対象としたアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- ウィルス、ワーム、欠陥、トロイの木馬、破損ファイル、その他の有害なアイテムや虚偽のアイテムを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- いずれかの当事者の特許権、商標権、著作権、トレード・シークレット、またはその他の占有権で保護される、以下のいずれか(写真、イメージまたはグラフィックを含みますがこれらに限定されません。)を含むアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。ただし、お客様がかかる権利の所有者である場合、またはアプリケーション内でかかるコンテンツを掲示することについて所有者からの許可を得ている場合は除きます。第三者の権利者によって要求される場合は、アプリケーションの当該部分に対する著作権または商標権表示を行います。
- これらの条件または適用される法律や規制に違反するアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- 別の人の名前を使用したり、あるいはお客様やアプリケーションのソースを不実表示したりしない。
- 間違って表示されるアプリケーションを公開したり、かかるアプリケーションが IBM の後援または承認を受けていることを示唆したりしない。
- 「エンド・ユーザー」コンテンツを保管する際、お客様のアプリケーションは強力な暗号化機能を利用しなければならず、またそのコンテンツがキャッシュされる場合には、24時間ごとにリフレッシュされなければならない。
- お客様のアプリケーションでは、Watson Work API へアクセスするために提供された鍵および秘密のみを使用しなければならない。
- お客様は、適用法の要求に従い、「エンド・ユーザー」の要求時には、「クラウド・サービス」の「エンド・ユーザー」から収集されたすべてのコンテンツを削除しなければならない。さらに、お客様は、お客様のアプリケーションが「クラウド・サービス」内の任意のスペースから削除された場合には、「エンド・ユーザー」から収集されたすべてのコンテンツを削除しなければならない。
- 「エンド・ユーザー」から収集されたコンテンツを、何らかの広告形式で使用することを許可するアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- 明確な許可なく、「エンド・ユーザー」から収集されたコンテンツを使用して、「クラウド・サービス」以外の「エンド・ユーザー」に連絡を取ることを許可するアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。

IBM は、お客様のアプリケーションを確認することができ、「カタログ」上でのアプリケーションの共有または公開継続のために、お客様による修正を要求する権利を留保します。

お客様は、アプリケーションを「クラウド・サービス」に追加し URL 経由で共有すること、または、「カタログ」上で公開することにより、「クラウド・サービス」の「サービス記述書」、適用される基本契約(例:「クラウド・サービス」契約)、ならびにお客様とアプリケーションの「エンド・ユーザー」間のエンド・ユーザー契約条件に従い、「エンド・ユーザー」にお客様のアプリケーション・エントリーおよびお客様のアプリケーションへの公開アクセス権を付与することになるということを理解し、了承するものとします。

お客様は IBM に、お客様の「コンテンツ」のマーケティングおよび宣伝に関連して、お客様のアプリケーションに含まれるか、「カタログ」において IBM に提供されるロゴ(以下「お客様のマーク」といいます。)としてお客様の商標を使用、表示、および配布することのできる、非独占的、地域制限なし、使用料無料のライセンスを付与します。お客様は、お客様が「お客様マーク」の所有者または認定された使用許諾者であり、第三者の知的財産権を侵害しないことを保証し、表明するものとします。お客様および IBM の間では、「お客様のマーク」に関連するすべて信用はお客様の利益のために効力を生じます。IBM は、「お客様のマーク」の全体的な外観を変えることなく、必要に応じて「お客様のマーク」の形式またはサイズを変更することができます。

お客様は、特許、著作権、商標のあらゆる権利、および「クラウド・サービス」に関するその他のすべての知的所有権は引き続き IBM およびそのサプライヤーに帰属することに同意します。

### 5.2.3 コグニティブ要求に関する制限

この「クラウド・サービス」は、コンテンツを共有するユーザーおよび統合アプリケーション向けです。このコンテンツを Watson Cloud Platform のコグニティブ機能によって分析し、重要なトピックと「モーメント」の要約に役立てます。IBM は、アプリケーション生成メッセージを処理するための Watson の使用を制限する権利を留保します。

### 5.2.4 アプリケーションの使用に関するエンド・ユーザー契約

お客様および IBM の間では、お客様は、お客様のアプリケーションを「エンド・ユーザー」が利用できるようにすること、およびお客様のアプリケーションについてライセンスを付与するか、その他の方法で権利を付与することについて全責任を負います。「アプリケーション項目」内でのレビューのためにすべての「エンド・ユーザー」がアクセスできる、お客様のアプリケーションの使用に適用されるエンド・ユーザー条件の設定はお客様の責任となります。あるいは、この条件が「アプリケーション項目」の外部の「エンド・ユーザー」に提供される場合、「エンド・ユーザー」による当該アプリケーションの使用に先んじて、当該アプリケーションの「エンド・ユーザー」条件をレビューする権利を「エンド・ユーザー」に提供するという方法で、この条件が表示されます。かかる契約は直接お客様と「エンド・ユーザー」の間のものであり、IBM に対していかなる義務または責任も発生させるものではありません。お客様は、お客様と「エンド・ユーザー」間の契約には、少なくとも、本別紙の条件に準拠する条件が含まれ、お客様のアプリケーションを使用するその他の「エンド・ユーザー」に本別紙の遵守とアプリケーションの使用時の遵守を要求するものであることに同意します。

### 5.2.5 サポート

お客様は、お客様のアプリケーションに関して「エンド・ユーザー」にサポートを提供することについて責任を負います。

### 5.2.6 IBM Watson Conversation Service Connection

お客様は、IBM Watson Conversation Service インスタンス (以下「Watson Conversation」といいます。) をそれぞれのアプリケーションに接続して、「クラウド・サービス」内のコンテンツを分析できます。お客様が、それぞれのアプリケーションを Watson Conversation に接続して「クラウド・サービス」内でアプリケーションを使用するか、その使用を許可することにより、アプリケーションは、特定のコンテンツを接続された Watson Conversation インスタンスに自動的に送信します。さらに、お客様は、お客様のアプリケーションを Watson Conversation インスタンスに接続するために、お客様が IBM に提供しなければならない資格情報を用いてこの接続が行われることを理解するものとします。お客様は、正しい資格情報を IBM に提供する責任があります。また、そうすることにより、お客様またはその他の人物によるお客様のアプリケーションの使用により、提供された Watson Conversation の資格情報に関連するアカウントに対して、Watson Conversation インスタンスのアカウント所有者により別途合意された Watson Conversation の条件により、料金が発生する可能性があることを理解します。

### 5.2.7 事業活動の自由

お客様は、IBM にはいかなる形であれ、お客様のアプリケーション (またはその一部) を使用、投稿、投稿状態を維持する義務がないことを了解し、それに同意します。IBM は自らの判断で、理由に関係なく、通知することなく、「カタログ」を中止したり、アクセスを制限、中止したり、「カタログ」から、または「クラウド・サービス」内で、アプリケーションを削除できます。お客様は、IBM がアプリケーションの投稿または使用に関してお客様を補償しないことを理解します。

### 5.2.8 通知の回答

IBM は、「カタログ」および「クラウド・サービス」内で使用されるアプリケーションを監視する権利を留保しますが、その義務はありません。IBM は、自らの裁量で、アプリケーションを拒否したり、以前に公開されたアプリケーションを削除したりする権利も保持しています。